

人吉市復興まちづくり計画

令和3年10月版

■ 計画策定の目的

市では、令和2年7月豪雨災害からの復旧復興に向けた大きな指針となる「人吉市復興計画」を3月に策定しました。計画の基本方針では“市民一丸となって取り組む復興”を掲げ、この甚大な災害を乗り越えさらにより良いまちとしていくためには、地域住民、地域事業者、行政等が一体となって復興への歩みを進めていく必要があります。

今回策定した「人吉市復興まちづくり計画」は、被害を受けた地域等の実情や課題が異なることを踏まえ、地域ごとにどういった対策や取組が必要かを住民の方が中心となり検討を重ね、復興に向けて地域が提案する内容を整理し、計画にまとめたものです。災害に強く、未来への希望につながるまちづくりに向けて、ハードとソフトの両側面から地域ごとに必要な対策、取組をまとめています。

■ 計画の検討体制

地区別懇談会等における
必要な対策等の検討
(R3.4月～10月)

- 地域の課題だし
- 治水対策とまちづくり・避難の考え方
- 地域の課題をもとに必要な対策の検討
- 復興まちづくり計画案として整理

提案

人吉市復興まちづくり
計画へ反映

計画全文は市ホームページでご確認いただけます。



読み取ると市ホームページへリンクします

■ 計画期間

令和3年度～令和9年度

■ 計画の対象地域

市全域を対象としますが、特に被害が甚大であった地域を「重点地区（8地区）」と設定し計画を整理しています。また、市中心部で一体的に取り組を進めていくことが求められるまちなかエリアについては「人吉市まちなかランドデザイン」として計画を整理しています。

| 市全域 | | | | | | | |
|-------------|------|------------------|---------|-------|--------|------|------|
| 中心市街地地区 | 青井地区 | 麓・老神地区 | 球磨川左岸地区 | 薩摩瀬地区 | 温泉下林地区 | 中神地区 | 大柿地区 |
| 区域の一部 | | 重点地区(被害が大きかった地区) | | | | | |
| 被災市街地復興推進地域 | | | | | | | |
| まちなかエリア | | | | | | | |

■ 計画の推進に向けて

復興まちづくりにあたっては、地域住民、事業者、行政等が自ら主体的に取り組むことが重要です。

適切な役割分担のうえで連携・協働し一丸となって計画実現に向け取り組みを進めます。

※計画はR3.10月時点版を初版として取りまとめ、復旧復興の進捗や状況変化を踏まえ柔軟に見直しを行います。

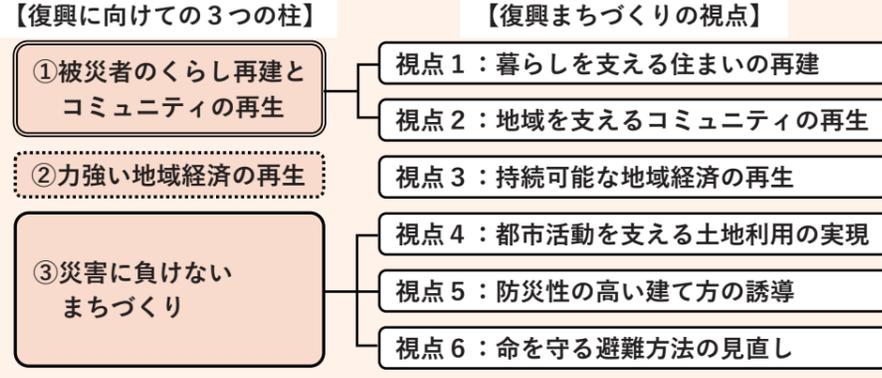
(問い合わせ) 人吉市役所復興支援課
☎ 0966-22-2111(代)
Mail: fukkousien@hitoyoshi.kumamoto.jp

まちづくりの担い手・プレイヤー ～誰が主体となって取り組むか？～



復興まちづくり計画の基本方針

復興にあたっては、流域治水プロジェクトに基づく治水対策の推進を前提としながらも、くらしやコミュニティ、地域経済の再生を図りながら災害に負けないまちづくりを進めていく必要があります。
この計画では右図に示す視点に沿って各地域の取組方針を整理しています。



麓・老神地区の復興まちづくり計画

対象地域 麓町、老神町、新町、田町、南寺町

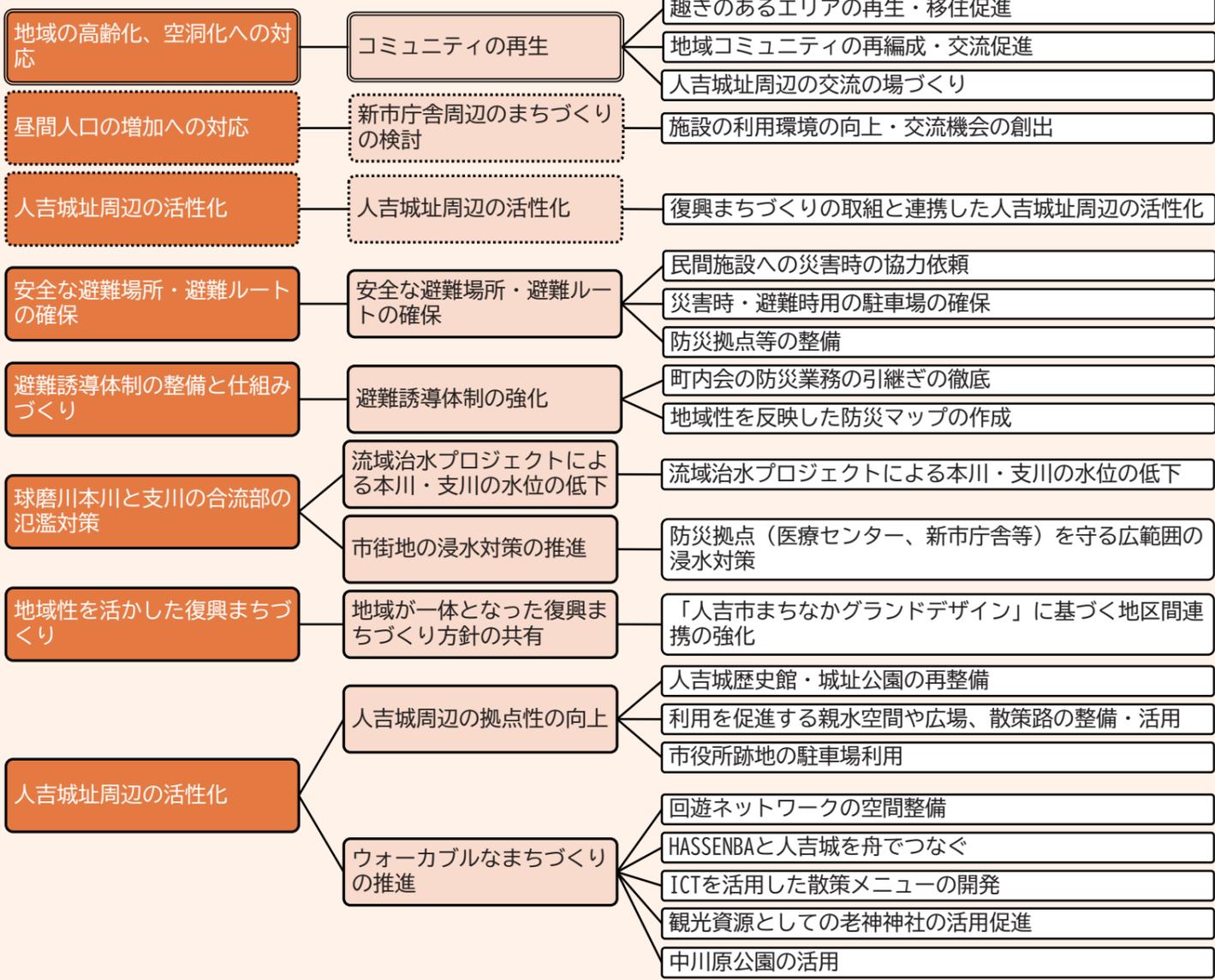
復興まちづくりの目標

歴史と未来が共存するまちづくり

地区の主な課題

取組方針

具体の取組



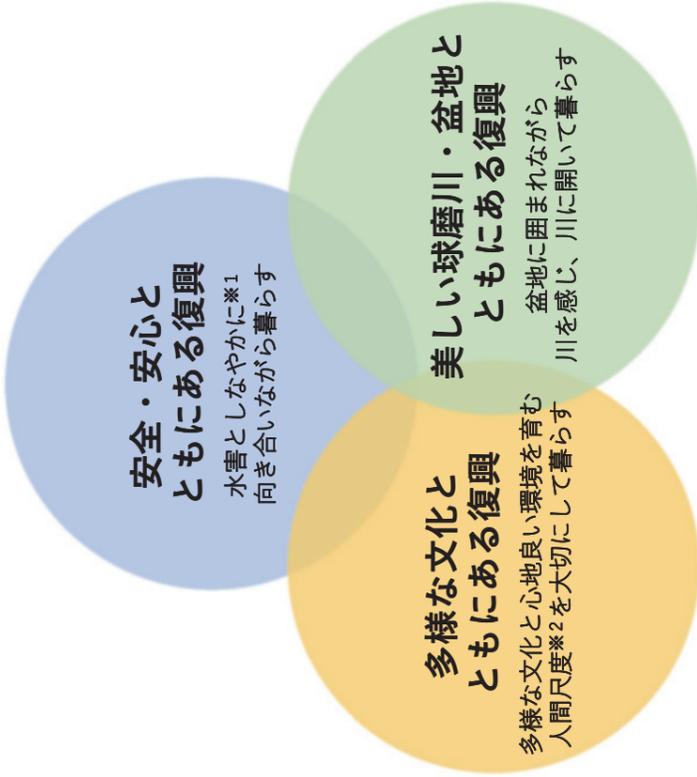
人吉市まちなかグランドデザイン～中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区の3地区が連携したまちなかの将来ビジョン～

人吉市まちなかグランドデザイン

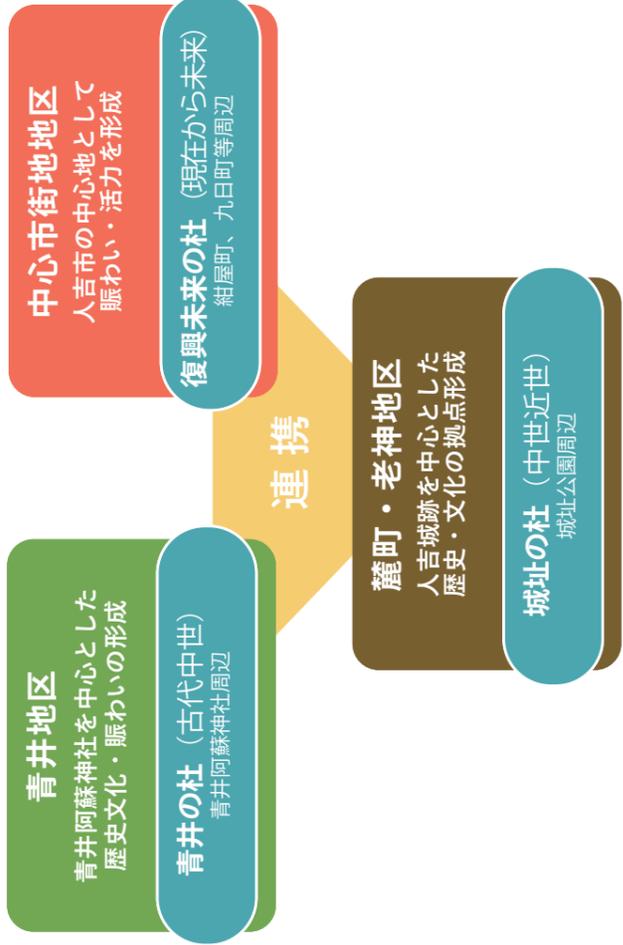
対象地域 中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区

相良700年の歴史とともに育んできた「多様な文化」や、「美しい球磨川・盆地」の豊かな自然を活かし、来訪者を含めた賑わい形成や、水害を乗り越え「安全・安心」な暮らし方につなげる、「持続可能な地域づくり」に取り組んでいきます。

3つの柱が調和・連携し復興まちづくりを推進



3地区の連携と未来型復興を先導する「3つの杜」



各地区の特性を最大限に活かし、

- 人吉らしさや賑わいを発信する集客拠点「3つの杜」の形成と回遊促進を図る
- それぞれの拠点が連携してまちなか全体の活性化につながるよう、復興まちづくりを推進

※1 将来起こるかもしれない水害等の自然災害に対し、事前に対応するとこの意味を込めて「しなやかに」という言葉を用いています。
※2 城下町の歴史がある人吉市のまちなかにおいては、歩きやすい道幅や圧迫感のない建物の高さ等に人々の居心地の良さに配慮し、「人間が心地良さを感ずる尺度」を大切にします。

麓・老神地区 復興まちづくり計画【地区整備方針・避難ルート図・コミュニティの再生】



※避難場所については、令和3年度避難場所の内容に合わせて一部修正しています。本編は次回改定時に合わせて修正を行う方針です。

人吉市まちなかランドデザイン～中心市街地地区、青井地区、麓・老神地区の3地区が連携したまちなかの将来ビジョン～

■人吉の歴史を語り継ぎ明るい未来を創る3つの杜

● 青井の杜（古代中世）、城址の杜（中世近世）、復興未来の杜（現在から未来）

■賑わい・交流・回遊を促進する軸

- 賑わい・交流軸 3つの杜を連携する、賑わい・交流を促進する軸の形成
- 賑わい・交流連携軸 周辺の拠点と連携する、賑わい・交流軸の形成
- 球磨川プロムナード軸 球磨川の魅力を活かした親水空間の形成
- 山田川親水軸 山田川の魅力を活かした親水空間の形成
- 回遊散策路 人吉の魅力を楽しめる散策コースの形成

※賑わい・交流軸、賑わい・交流連携軸、球磨川プロムナード軸、山田川親水軸は機能として回遊散策路を兼ねます。

■取組の推進ゾーン

- 人が集い賑わう交流拠点の形成
- 歴史・文化資源を活かした拠点の形成
- 自然環境等を活かし、潤いを感じ憩える拠点の形成
- 避難場所も兼ねたまちなか居住の拠点の形成
- 川沿いの環境を活かした創造・交流を促進する拠点の形成
- 被災市街地復興推進地域

- 風致地区
- 公園・緑地
- 史跡人吉城跡
- 登録文化財
- 歴史的建物等
- 仮設店舗等
- 温泉・公衆浴場

